

なんケア通信

第31回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：令和3年12月3日(金) 18:00~19:15

会場：御野場病院 在宅リハビリテーションセンター 2階 研修室

参加者：37名(介護事業所関係者 23名、地域包括支援センター 3名、医療機関関係者5名、その他 6名)



演 題

『有床診療所の役割と旅立ちのしたく』

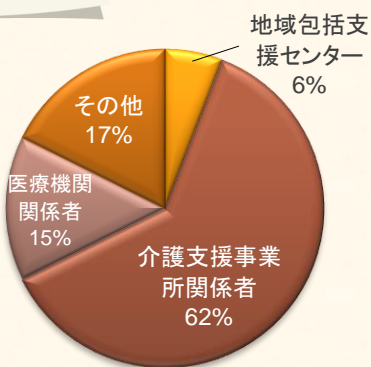
山王胃腸科 理事長 最上 希一郎 氏

今回のなんケアの会は、10月にオープンした当院の在宅リハビリテーションセンターで開催致しました。講演会では、有床診療所の役割について、また、最上先生の訪問診療の事例をもとに、看取り期における身体の変化と対応の仕方について、お話して頂きました。看取り対応について、日頃悩んでいることや不安に感じていることが払拭された講演内容でした。

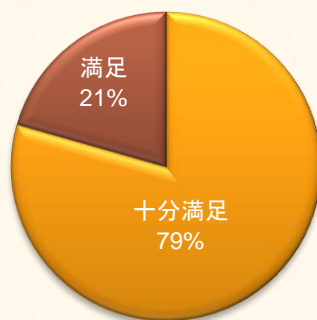
最上先生、貴重なご講演ありがとうございました。

アンケートの 集計結果

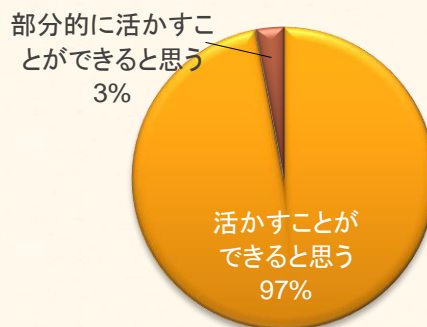
「所属」



「なんケアの会に参加して、 いかがでしたか？」



「今後、地域での活動に活かす ことができそうですか？」



回収率：91.9%(アンケート配布：37名、回収：34名)

会場の様子と 皆様からの ご意見・ご感想

講師の最上氏



会場の様子



質疑応答の様子



とても学びとなったお話でした。最期を迎えることは悲しいことだけではないのだということ、どれだけ関わってその方の意向や希望にそえるのか、とらえ方・関わり方などが、良く理解できました。貴重なお話ありがとうございました。

(介護支援事業所関係者)

大変大変心に残りました。日々の関わりを大切にしていきたいと改めて感じました。ありがとうございました。看取り対応に少し気持ちが楽になりました。家族支援のノウハウも聞けて「なるほど!!!」と同感しました。

(介護支援事業所関係者)

本当にいいお話を聞け、先生とチームを組み、在宅の患者さんに寄りそった支援をしたい、できたらなと思いました。在宅で最期まで支援をとった時、やはりバックベッドがあるという有床診療所はとても心強いものと思います。また先生から治療中、看取った後でも「先生の言葉」をかけてもらうだけで救われる気がしました。先生のお話をもっと色々な人、様々な場面で聞いてもらいたいと思いました。

(地域包括支援センター)

次回開催の お知らせ

開催日時：令和4年2月4日(金) 18:00~19:15

会場：未定

